

佐久市総合計画審議会（第1回） 会議録

日時：令和2年7月3日（金）

午後1時～

場所：佐久市役所南棟3階会議室

【出席者】堀内会長、丸山副会長、吉沢委員、桃井委員、堤委員、土谷委員、伊坂委員、井出（時）委員、田村委員、相馬委員、大島委員、小池委員、春原委員、土屋委員、宇治川委員、井出（進）委員、藤牧委員、小林（壽）委員、小平委員、野村委員、沖津委員、金澤委員、駒村委員、小林（直）委員、市川委員、田原委員、依田（今）委員、小畑委員、笠井委員、依田（ま）委員、木内委員

以上31名

【事務局】畠山企画部長、若林企画課長、木下企画調整係長、井出主任、大井（実）主任、金澤主事、大井（麻）主事、大内主事

○協議事項等

次第

- 1 開会
- 2 委嘱書交付
- 3 市長あいさつ
- 4 自己紹介
- 5 佐久市総合計画審議会条例について
- 6 正副会長の選出について
- 7 諮問
- 8 議事

（1）佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について

質疑、意見

会長	会議がスムーズに進行できますよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。それでは、「（1）「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進行管理について」事務局から説明をお願いいたします。
事務局	《資料1-1、1-2に基づき説明》 佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について ⇒進行管理においては、PDCAサイクルを確立し、外部の視点も含め、評価を実施することが求められていることから、部会を設置し、評価結果について意見をいただき、部会毎の意見をまとめた後、審議会の意見としてまとめてまいります。

会長	ただ今、事務局から説明がありましたが、ご質問等ございますでしょうか。
	－意見、質問等なし－
会長	特にないようですので、次の議事事項へ移りたいと思います。

(2) 第二次佐久市総合計画前期基本計画の進行管理について
質疑、意見

会長	第二次佐久市総合計画前期基本計画の進行管理について、事務局から説明をお願いします。
事務局	《資料2に基づき説明》 第二次佐久市総合計画前期基本計画の進行管理について ⇒「前期基本計画における施策の進捗状況や取組に関する事項」について意見を求める旨の先程の市長からの本審議会への諮問に基づき、同計画が定めるプロジェクト目標と49の施策目標の進捗状況評価についてご意見をいただきたい。審議については、部会を設置し、各部会意見をまとめた後、審議会意見としてまとめてまいりたい。
会長	ただ今、事務局から説明がありましたが、ご質問等ございますでしょうか。
委員	市民満足度アンケートにより集計した満足度の指数は、説明により、結果が随分変わってしまうことがよく見受けられますが、設問自体は分かるように示していただいているのでしょうか。
事務局	市民満足度アンケートについては、毎年度市民の皆さんに、例えば、学校教育の分野であれば「市としてこのような事業を進めました。」と、いくつかイメージできるような具体的な事業を挙げ、これらについて満足の具合を5段階で評価をしていただいております。そして、回答で得られた満足度を集計し、統計的に分析したものを、お示しさせていただいております。委員さんが想像されているような、個別具体的に聞いているというよりも、どちらかという

	<p>と、印象というようなかたちになっているのが実情です。</p> <p>そこで、満足度を上げるため、市が取り組んできた事業について、部会の中で委員の皆様にご説明をさせていただき、「この事業はもっとこうしたらいいのではないか」等の意見を頂戴するのが、進行管理のイメージになります。</p>
委員	<p>平均点の“3”の中でも、「どちらでもいい」という回答と、「こんな施策があったことを知らなかったので、満足も不満も言いようがない」という回答があると思います。回答の真意に関わらず、3が多くなると、平均点が上がるという、非常にまずい状態が出てくるかと思いますが、そうならないようにするための工夫等は図っているのでしょうか。</p>
事務局	<p>委員さんが今仰られたように、例えば、教育分野において、今お子さんがいらっしゃる方にとっての満足度と、全くかけ離れている方の満足度は、印象が違うのではないかとご指摘は、その通りでございますが、統計処理上は、一体的に処理をさせていただいているのが実態です。</p> <p>ただ、満足度が、例えば 3.16 だったものが大きく数値が増減することがあるのかと言いますと、そんなことはなく、3.16 だったものは、概ねその近辺に数値がついてきております。</p> <p>ですので、この満足度の目標を絶対的なものとして捉えずに、全体の傾向としての見方をしながら、「では、どのように改善すればいいのだろうか」だとか、「低下傾向にある満足度を向上するために、具体的にどうすればいいのか」などに対するご意見を、委員の皆様から頂戴したいと考えています。</p> <p>数字に囚われすぎることなく、市が取り組んだ事業について意見を頂戴するようなイメージで進めさせていただきたいと考えています。</p>
会長	<p>宜しいでしょうか。数字だけを見るのではなく、実際に市の方で取り組んだ事業について一緒に議論していく、ということですね。</p>
委員	<p>農林業センサスの関係で、地域住民の方々から色々お話を聞く機会があるのですが、市で取り組んでいる事業に係る情報が全然伝わってこないだとか、年齢のばらつきによって全く関係ない方々が</p>

会長	<p>らっしゃったりだとか、「自分には関係ないよ」というスタンスの方が多くいました。ここを少し心配しております。また議論を進めていく中で話したいと思います。</p> <p>ありがとうございました。他にございませんでしょうか。それでは、次の議事事項に移りたいと思います。</p>
----	--

(3) 部会の設置について (委員指名)

(4) その他

質疑、意見

会長	最後に、その他について、事務局から何かありますでしょうか。
事務局	《次回審議会の予定について説明》
会長	ありがとうございました。事務局からの説明に対して、ご意見、質問等ありますでしょうか。
委員	今後の日程について説明がありましたが、年間スケジュールを示していただけますでしょうか。
事務局	日程調整させていただいた上で、早期の段階でお示しできるよう務めさせていただきたいと思います。
会長	他に質問はありますでしょうか。
委員	<p>「まち・ひと・しごと総合戦略」について、先程、「しごとをつくることから始めよう」という説明がありました。今回の新型コロナウイルス感染症の騒ぎで、テレワークのように、仕事を作らなくても人を集められる「しごと」の需要が高まると思います。</p> <p>また、長野県は、移住先として非常に高い評価を得ているということで、「しごと」なしで社会増を目指すことが、今後非常に大きなウエイトを占めてくると思うのですけれども、企画部としては、総合戦略に対してどの程度影響が出ると考えているのか、お聞かせいただければと思います。</p>

事務局	<p>今回、まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理をお願いしましたが、平成 29 年度から令和元年度までを計画期間とする第 1 期の総合戦略でございます。</p> <p>当該戦略では、「しごとがひとを呼び、ひとがしごとを呼ぶ。そして、それを支えるまちを作っていく」という考えが、大きな柱でした。これを踏まえ、まずは、「しごと」の創生を力強くやっていきたいと考えたところです。</p> <p>そして、昨年度策定しました、令和 2 年度から令和 6 年度までを計画期間とする現行の第 2 期の戦略については、「しごと」ではなく、佐久市の「まち」としての強さや、「まち」としての魅力を高めていくところに、まずは力を入れていきたいとしています。</p> <p>さらに、「しごと」も多様な働き方、多様な職種というものをしっかり作っていききたいと、戦略へ記載をさせていただいています。</p> <p>総合戦略も 5 年のスパンで新たなものを作り、毎年度見直しをしております。今回の新型コロナウイルス感染症など、社会経済情勢の状況に応じ、柔軟に対応していくようなかたちをとっておりますので、その際はまたご意見を頂ければと思います。</p>
会長	<p>他に何かございますでしょうか。宜しいでしょうか。</p> <p>他にご意見もないようですので、以上で本日の会議事項を全て終了させていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p>

9 閉会